

# 西南北海道北斗市七重浜におけるココヤシの漂着

鈴木 明彦<sup>1</sup>・鵜沼 ワカ<sup>2</sup>

Stranding record of *Cocos nucifera* L. on Nanaehama beach, Hokuto City, southwestern Hokkaido

Akihiko SUZUKI<sup>1</sup> and Waka UNUMA<sup>2</sup>

ココヤシ *Cocos nucifera* L. は、熱帯性のヤシ科の高木である。ココヤシの果実は大型で浮力が大きく、長期間の漂流に耐えるため、日本列島各地で漂着が知られている (中西 1994, 1999)。これまで、北海道におけるココヤシの漂着は、日本海沿岸の各地、太平洋側の日高地方、襟裳付近などでいくつか報告されてきた (中西 1999; 石川 2007; 志賀 2008 など)。しかし、太平洋側での報告例は限定されている (石川 2007; 圓谷・鈴木 2014)。

2011年9月に西南北海道北斗市七重浜 (北緯41°

48' 52", 東経140° 42' 12") で、筆者のひとり鵜沼は打ち上げられたココヤシを発見した。鵜沼は10年以上にわたり、七重浜で打ち上げ貝類を採集しているが、ココヤシを発見したのはこの時のみである。北海道の津軽海峡側でのココヤシの漂着例はなく、今回が初めての報告となる。

七重浜 (Fig. 1) は、北斗市南部の函館湾に面した砂浜海岸である (三谷ほか 1965)。今回発見したココヤシ (Fig. 2) は、汀線から内陸側の地点に中国・韓国製の人工物と共に打ち上がっていた。ココヤシは、高さ約185mm、最大幅約165mmであった。外果皮の一部は剥落しており、繊維状の中果皮が裂けていた。なお、外果皮の表面にはフジツボの付着や穿孔貝の生痕は認められなかった。

本地点から北東方向に位置する胆振地方室蘭市イタンキ浜では2008年7月と2012年8月、同トッカリシヨ海岸では2014年8月にココヤシの漂着が確認されている (圓谷・鈴木 2014)。また、えりも町百人浜では、2000年7月と2006年9月にココヤシが漂着している (石川 2007)。大型で比較的目立つココヤシは、一般人の目にもつきやすく興味・関心を魅きやすい。今後は漂着記録の乏しい地域においても、新たなデータの蓄積が望まれる。

## 引用文献

- 圓谷昂史・鈴木明彦 2014. 北海道室蘭市トッカリシヨ海岸におけるココヤシの漂着. 漂着物学会誌 12: 55.  
 石川慎也 2007. 北海道えりも町百人浜の漂着種子と果実. えりも研究 (4): 9-12.  
 三谷勝利・小山内熙・松下勝秀・鈴木守 1965. 5万分の1地質図「函館」及び同説明書, 32pp. 北海道立地下資源調査所, 札幌.  
 中西弘樹 1994. 種子はひろがる—種子散布の生態学. 254p., 平凡社, 東京.  
 中西弘樹 1999. 漂着物学入門—黒潮のメッセージを読む. 211pp., 平凡社, 東京.  
 志賀健司 2008. 展示資料のひみつ—ココヤシ. エステュアリ (Estuary) (31): 1.

(Received Feb. 20, 2015; accepted Mar. 25, 2015)

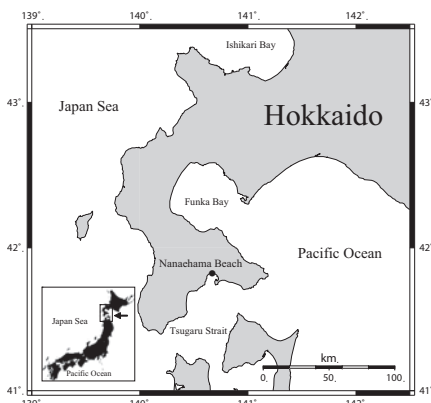


Fig.1 Map showing the location of Nanaehama beach, Hokuto City, Hokkaido.



Fig.2 A fruit of *Cocos nucifera* stranded on Nanaehama beach.

<sup>1</sup>〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1 北海道教育大学札幌校

<sup>1</sup> Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan

<sup>2</sup> 〒041-0812 函館市昭和3-12-9

<sup>2</sup> 3-12-9 Showa, Hakodate City, Hokkaido 041-0812, Japan